

事業計画書

平成29（2017）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

シャローム三育保育園

平成 29 年度 シャローム三育保育園事業計画 基本方針

園長 村上 渉

保育園が開園して10年が経ちました。この間、スマートフォンやソーシャルネットワークなどのコミュニケーションツールの飛躍的な普及により生活スタイルが大きく変わりました。これによる子育て環境にも大きな影響が出ているのはご存知の通りです。そんな中、国を挙げての新制度がスタートし仕事と子育てを両立するための支援体制の整備が進められています。保育園においては就学までの子どもの保育と教育、そして保護者支援と地域の子育て拠点としての役割を担っています。多様化する保育ニーズに対して、保育を必要する子どもたちの健全な成長と保護者との良好な関係づくりから、さらに家庭支援に至るまでの保育者としてのスキルが求められています。これからの10年を見据えた人材の確保と育成、保育施設環境の整備を進めていきます。

シャローム三育保育園が目指すものは「心を育てる保育」です。人々から愛されることと同時に人々を愛せる子どもに育てる保育を実践していきます。小さなもの、弱いものへのいたわりの心、思いやりの心の大切さについて保育者が見本となり、子どもたちに伝えていきます。

常に子どもの最善の利益を考え、保護者支援や地域子育て支援の拠点として、ともに子どもたちの成長の喜びを分かち合える関係を築くために、地域や行政機関と連携した運営を行っていきます。

平成29年度事業計画 部門名	計画責任者：氏名
保育園	村上 渉
I	保育基本方針 キリスト教の愛を基に 「知育」(考える力) 「徳育」(おもいやる心) 「体育」(けんこうな体)の調和のある発達を目的とした保育を行う
II	保育目標 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを素直に表現し、意欲的に生活する子ども ・思いやりの心を育て、感謝の気持ちを持てる子ども ・健康な心と体を持ち、最後まで頑張る子ども
III	事業数値目標 1.園児数の確保 定員 84 名 2.一時保育 年間延べ人数 320 名
IV	業務の改善・見直し (部門の従来からの欠点・弱点の改善) 1.保育の質の向上：保育者として子どもたちの見本になる行動を心掛ける。 2.緊急時対応の強化：危機管理の意識を高め、さまざまな非常時の対応に備える。 3.地域連携：せやまる・ふれあい館の他5施設との連携をとり、地域との関係を深める。 4.各マニュアル等の見直し：現状に合わせた内容への変更を随時行う。 5.設備環境の整備：安全に保育ができる環境を確保する。
V	業務の強化・向上 (従来からの強み・良い点の強化向上) 1.個別支援が必要な児童や家庭への細やかな対応ができるようにスキルと体制を整える。 2.職員研修 園内研修：保育、業務に関する課題に対して職員間で共通認識を持ち、全員で課題解決できるようにする。 外部研修：研修目的を明確にし、学んだことを他の職員と共有できるようにする。 3.食育：食事を通して食物の大切さと、食に興味をわくような取り組みを行う。 4.保健指導計画を基に園児の健康管理と感染症予防の指導を行う。
VI	業務の新たな試み (新たなニーズへの対応・開発) 1.第三者評価の実施。 2.瀬谷区地域子育て支援活動への参入。「赤ちゃんの駅」授乳やおむつ替え場所の提供 3.法人内研究発表会の発表部門としての取り組み。